

ドクター 苦米地、初の数学本登場！

## 『数学嫌いの人のための

## すべてを可能にする数学脳のつくり方』

初公開博士論文も収録！文化系人間にも最高のツールが手に入る!!

(著者) 苦米地 英人

(価格) 1,500 円 + 税 (発売日) 2016 年 4 月 22 日 (出版元) ビジネス社

株式会社ビジネス社(東京都新宿区:代表取締役社長 唐津隆)は、2016 年 4 月 22 日に『数学嫌いの人のための すべてを可能にする数学脳のつくり方』を発売いたしました。

本書はご存じドクター 苦米地が初めて手掛けた数学本です。数学嫌いの文系人間のために、その原理から応用に至るまで、苦米地流超わかりやすい説明を加えました。苦米地流によると、証明に用いる道具が数学で、正しさにたどりつくのが数学的思考です。そして数学的思考に欠かせないのが「ひらめき」です。一般的な感覚としては、数学者は数学上の未解決問題にずっと取り組んでいる人といったイメージを持てしまいがちです。実は、数学の世界というのはとてつもなく広くて、現時点でも未知の命題が無数にあるのです。そして数学者という人はその問題を提示できる人なのです。本書では、著者は数学とは問題を解決することではなく問題を見つけることだということ

を明らかにして、その能力を身につけると、人生をいかにエクセレントにできるか、ということを示してくれています。

いわゆる数学として考える論理ですが、数学における論理はすべて辻褃合わせなのです。数学も同じように、法則に対する「ひらめき」があって、その後、証明するために「数式」というツールを使うのです。その最たる人物がフランスの数学者ピエール・ド・フェルマーです。彼が残した有名なフェルマーの定理は、「私は驚くべき証明を見つけたが、それを書くには余白が狭すぎる」と書いておわっています。数学者にとっては、ひらめくことのほうを大切にし、どちらかといえば証明をなおざりするということの証明でしょう。

ですから、本当の意味で数学的思考というのであれば、ひらめきを大切にする思考法のことをいいます。本書は学校で習った数式とのにらめっこではなく、数学的思考がどのようなものか、そこに含まれる[ひらめき]の要素を説明、実践していただき、エクセレントな体験をしていただく 1 冊です。また巻末附録として秘蔵の博士論文を初公開しています。



### 本書の構成

- 第 1 章 数学的思考とはなにか？
- 第 2 章 数学とはなにか？
- 第 3 章 幸福を数量化する経済学と数学
- 第 4 章 数学的思考と人工知能
- 第 5 章 プリンシプル(原理原則)とエレガントな解

著者: 苦米地 英人(とまべち・ひでと)

1959 年、東京都生まれ。認知科学者(脳機能科学、計算言語学、認知心理学、分析哲学)。計算機科学者(計算機科学、離散数理、人工知能)。カーネギーメロン大学博士(Ph.D)、同 Cylab 兼任フェロー、株式会社ドクター 苦米地ワークス代表、コグニティブリサーチラボ CEO、角川春樹事務所顧問、中国南開大学客座教授、苦米地国際食糧支援機構代

表理事、米国公益法人 The Better World Foundation 日本代表、米国教育機関 TPI ジャパン日本代表、天台宗ハワイ別院国際部長、公益社団法人自由法同協会会長。

マサチューセッツ大学を経て上智大学外国語学部英語学科卒業後、三菱地所に入社。2 年間の勤務を経て、フルブライト留学としてイェール大学大学院に留学、人口知能の父と呼ばれるロジャー・シャंकに学ぶ。同認知科学研究所、同人工知能研究所を経て、コンピュータ科学の世界最高峰として知られるカーネギーメロン大学大学院哲学科計算言語学研究科に転入。全米で 4 人目、日本人としては初の計算言語学の博士号を取得。帰国後、徳島大学助教授、ジャストシステム基礎研究所所長、同ピッツバーグ研究所取締役、ジャストシステム基礎研究所・ハーバード大学医学部マサチューセッツ総合病院 NMR センター合同プロジェクト日本側代表研究者として、日本初の脳機能研究プロジェクトを立ち上げる。通産省情報処理振興審議会専門委員なども歴任。現在は自己啓発の世界的権威、故ルー・タイス氏の顧問メンバーとして、米国認知科学の研究成果を盛り込んだ能力開発プログラム「PX2」「TPIE」などを日本向けにアレンジ。日本における総責任者として普及に努めている。著書に『もうこれ以上、人間関係で悩まない極意——今こそ、「縁起人」として生きろ。』（TAC 出版）、『あなたの収入が必ず増える!!即断即決「脳」のつくり方』（ゴマブックス）、『TPP に隠された本当の恐怖——ついに明らかになった危険すぎるシナリオ』（サイゾー)、など多数。TOKYO MX で放送中の「バラいろダンディ」(21 時～)で木曜レギュラーコメンテーターを務める。

## **著者へご取材、読者プレゼント対応も承ります。**

《 お問い合わせ先 》

株式会社ビジネス社 広報担当：松矢

〒162-0805 東京都新宿区矢来町114番地 神楽坂高橋ビル5F

TEL 03-5227-1602/FAX 03-5227-1603